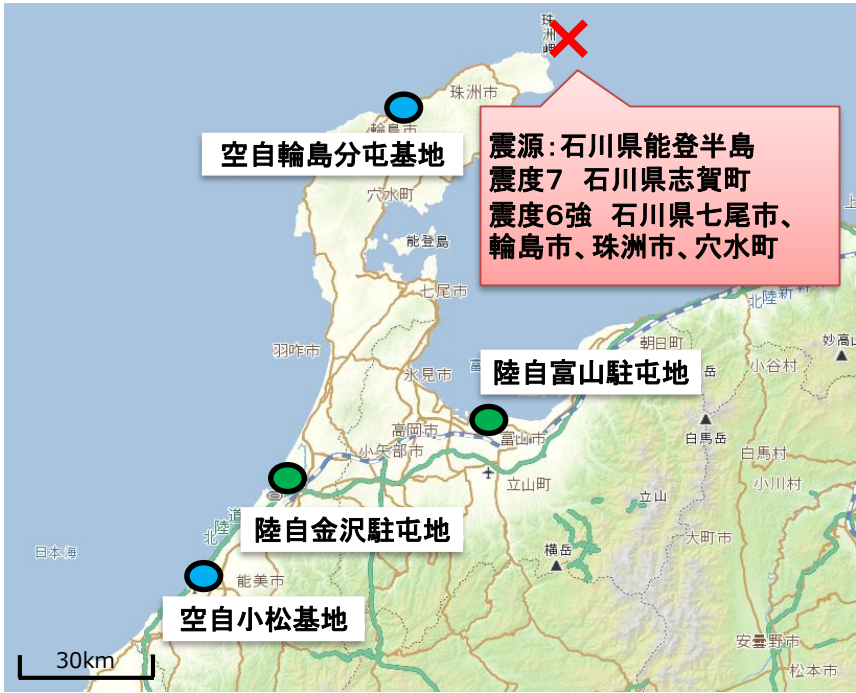


全般	○ 令和6年1月1日（月）1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7（M7.6、深さ約16km）の地震が発生。 ○ 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 4日（木）0900、富山県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 2日（火）1040、陸自中部方面総監を長とする統合任務部隊（JTF）を編成（陸海空自衛隊約10,000名態勢）。 ○ 3日（水）の総理からの指示を踏まえ、1個連隊（約800名）を投入し、避難所におられる被災者の方々が、今、何が欲しいのか具体的な内容をお聞きし、それを速やかにお届けするといった、被災者のニーズにきめ細かく寄り添った生活支援活動を行う予定。
活動態勢	【陸上自衛隊】 約3,700名 航空機19機 【海上自衛隊】 約1,000名 艦艇9隻 航空機3機 【航空自衛隊】 約770名 人員搜索犬12頭 航空機11機 【合計】 約5,400名 艦艇9隻 人員搜索犬12頭 航空機約30機
連絡員の派遣状況	○ 全9箇所に計28名の連絡員（LO）を派遣し情報収集活動を実施。
活動実績（延べ）	人命救助：救助174名 衛生支援：診療 約80名、患者輸送 約200名 輸送支援：糧食 約95,000食、飲料水 約185,000本、毛布 約7,000枚 燃料6,500L 等 給食支援：約1,400食 給水支援：約250t 道路啓開：県道1号、6号、52号、57号、285号及び国道249号の一部区間



<5日（金）の活動>

【人命救助活動】

- ・ 陸自第14普通科連隊が道の駅珠洲塩浜において要救助者5名を発見
- ・ 陸自中部方面航空隊のUH-1×1機により上大沢町から患者3名の搬送を実施
- ・ 陸自中部方面航空隊のUH-1×1機により門前西円山から孤立者7名の搬送を実施
- ・ 空自小松救難隊のUH-60×1機により町野町から患者2名の搬送を実施
- ・ 海自第23航空隊のSH-60×1機により東陽中学校から患者2名の搬送を実施
- ・ 空自小松救難隊のUH-60×1機により寺山地区から孤立者5名の搬送を実施
- ・ 空自人員搜索犬が輪島市内において搜索活動を実施
- ・ 空自第6航空団が輪島病院及び仮設救護所において医療支援活動を実施

【道路啓開活動】

- ・ 陸自第4施設団が珠洲市等において道路啓開を実施

【輸送支援活動】

- ・ 護衛艦「ありあけ」及び「すずなみ」搭載SH-60延べ9機により輪島市内へ物資輸送を実施
- ・ 陸自中部方面航空隊のCH-47延べ5機により珠洲市内及び輪島市内へ物資輸送を実施
- ・ 陸自中部方面航空隊のCH-47延べ2機により輪島分屯基地へ消防50名の輸送を実施
- ・ 空自入間ヘリコプター空輸隊のCH-47延べ2機により輪島市内へ物資輸送を実施

【給水支援活動】

- ・ 珠洲市、輪島市、志賀町、能登町、穴水町、七尾市において給水支援活動を実施
(陸自第14普通科連隊、第33普通科連隊、第35普通科連隊、空自第6航空団、高射教導隊)

【給食支援活動】

- ・ 輪島市、七尾市、氷見市において給食支援活動を実施
(陸自中部方面後方支援隊、空自第4高射隊、第2高射隊、輪島分屯基地)

活動の様子



雪上のSOS表記を上空から確認し、空自UH-60により孤立者を搬送



陸自施設部隊による道路啓開



陸上での捜索活動（夜間）



孤立者の搬送（UH-1までの介助）



護衛艦「おおすみ」とLCACによる重機陸揚げ



空自による給食支援



支援物資の集積拠点における陸自車両への積み入れ



輸送先における支援物資の配布



隊員による避難者からの物資ニーズの聞き取り